



羅針盤

発行:サイクラーズ株式会社
(旧名 東港金属グループ)
編集:サイクラーズ株式会社 東京事務所
東京都品川区南大井6-26-3
大森ベルポートD館 8F
電話: 03-6410-8797
URL : <https://www.cyclers.co.jp/>

Market Forecasts by Y. san -6月-

5月予測の自己評価 鉄スクラップ:○ 銅:○ アルミ:○

鉄スクラップ →
5月はスクラップ価格の指標となる東京製鉄宇都宮工場の特級価格49,000円/トンでスタート。11日に2,000円/トン下げて最終的には47,000円/トンでした。輸出価格が上がらないため6月は横ばいでしょう。

銅 →
5月のLMEは8,500ドル/トン台、国内銅建値は1,210,000円/トンでスタート。中旬から下げだし最終的にはLME8,100ドル/トン台。国内銅建値1,190,000円/トン。6月に関しては、中国国内外で製品需要が低調なこと、発生不足であることから横ばいと思われます。

アルミ →
5月のLMEは2,300ドル/トン台でスタート。最終的には2,200ドル/トン台とやや下げましたが、大きな変化は見られませんでした。6月は中国の金属需要低迷、世界的な景気後退の懸念もあるが横ばいと思われます。

産業廃棄物
電気代、人件費等値上げが相次ぎよいよ処理費の見直しが進む時期と思われます。処理費を上げると同業者から顧客を取られる恐れがあるため値上げの時期は慎重になります。一度失った顧客の取り返しは非常に難しい。そのためにも日頃のサービスが大切。窓口になる営業はもちろん回収ドライバーや現場作業員のマナーの向上に力をいれるべき時でしょう。

Topics

自動車リサイクルの成果

使用済自動車の再資源化等に関する法律(通称、自動車リサイクル法)は、2002年7月に制定され、2005年に完全施行となった法律です。その制定の背景や関係者の役割分担については、本紙No.22(2012年1月号)で概要を説明させていただきました。今回は、施行16年後の2021年度の自動車リサイクルの成果について(公財)自動車リサイクル促進センター(以下「促進センター」といいます。)の資料を基に紙面の都合で概要を紹介させていただきます。詳しくは最終行に記載しました促進センターのURLからご覧ください。

【使用済自動車のほとんどがリサイクルされています】
① 特定再資源化物品のリサイクル率は次の表の通りです。特定再資源化等物品とは、指定回収物品、自動車破砕残さ(シュレッターダスト)及びフロン類を言います。指定回収物品としては、現在、エアバッグ類が該当します。シュレッターダスト、エアバッグ類ともに目標値を大きく超えたリサイクル率となっております。

物品名	基準(目標値)	2020年度実績	2021年度実績
シュレッターダスト	70%/2015年度以降	96.10%	96.50%
エアバッグ類	85%	95~96%	95%

②シュレッターダスト(以下「ASR」という。)のリサイクル状況は次の表の通りです。前述の①でも紹介しておりますが、施行当初の2005年度は61.8%でしたが2021年度は96.5%となっております。

	2005年度実績	2020年度実績	2021年度実績
引き取られたASR重量(A)	480,463トン (2,724,509台分)	564,894.5トン (3,025,343台分)	550,966.5トン (2,956,837台分)
リサイクルしたASR重量(B)	297,130トン	542,717.7トン	531,679.6トン
リサイクル率(B/A)	61.8%	90.8%	96.5%

表中のASR重量には、認定全部利用施設に投入されたASR相当重量を含みます。ここで認定全部利用施設とは、自動車リサイクル法第31条で認定された施設のこと、破砕を経ずASRを発生させない方法で解体自動車をプレス処理し、そのまま鉄鋼の原料として1台を直接全部、電炉・転炉に投入することから全部再資源化(通称・全部利用)施設と呼ばれております。

【不法投棄などは大幅に減少しました】
不法投棄・不適正保管の状況は次の表のとおりです。自動車リサイクルシステムの本格稼動した2005年1月以降、使用済自動車の不法投棄などの不適切な状態は大幅に減りました。

	2004年9月末 (C)	2022年3月末 (D)	対2004年9月末比 (D/C)
不法投棄(a)	22,499台	752台	3.3%
不適正保管(b)	195,860台	4,529台	2.3%
合計(a+b)	218,359台	5,281台	2.4%

※不法投棄等対策支援事業
不法に投棄されたり不適正に保管された使用済自動車等を、自治体が廃棄物処理法に基づき行政代執行にて処理した場合の費用に対し、8割を上限に支援を行う事業です。

出典及び加工した資料:(公財)自動車リサイクル促進センター
<https://www.jarc.or.jp/automobile/effort/>

Series

「守ってあげられなかった出来事」

TML 運輸部 田坂 和久

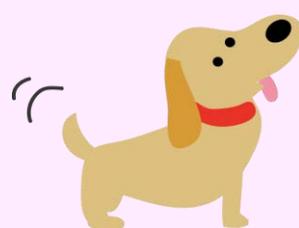
皆さまこんにちは、今回は「ちまごろう」の2編目です。新聞のチラシ広告のご縁で家の子となった子犬を連れて帰る途中で思いつき「ちまごろう」と名付けました。ちまごろうとした感じがしたのでその名前にしよ。

次の日からまるで息子ができたかの様に、メロメロになり溺愛してしまい、妻は呆れていました。初見と大きく違い、誰にでもフレンドリーなちまごろう でした。約5ヶ月たち、生後9か月になった1月に、事件が起きてしまったのです。散歩仲間も大勢できて、私の帰宅後の21時頃に集合する仲間入りをしておりました。事が起きたその晩は、初めて通りがかった、大型犬を連れて家族の犬が、ちまごろうを連れて妻の後からじゃれついてきたため、妻は転倒してしまい、下敷きになりそうになった ちまごろう が10mくらい逃げたのでした。その時、あるうにか、自転車に乗ったその家族の子が、「まてまて！」と ちまごろう に向かってしまい、考えられないようなスピードで逃げ始めた ちまごろう を追いかけてしまい、私が気付いて追いかけた時には、既に路地を曲がった ちまごろう の姿はどこにもありませんでした。散歩仲間の方々も手伝ってくれて、約3時間ほど手分けして探したのですが見つかることは出来ませんでした。

皆にお礼を言って私も帰宅し、迷い犬のチラシを作成し、妻と二人で朝まであちこちに貼りながら探したのですが、途中から雪が降ってきてしまい。朝には3cmほど積もってしまいました。積雪もあり、翌日は警察、愛護センターをはじめ、考えられる機関すべてに連絡の上、一日中探したのですが、痕跡すら見つからず、途方に暮れてしまいました。その翌日も一日中探しましたが、やっぱり見つかることは出来ず、チラシの反応も全くないため、絶望感が襲ってきました。

食事も喉に通らず、睡眠もとれずにいた私の衰弱ぶりに、妻は私が倒れてしまうのでは?と思っらしいです。その翌日、営業が仕事の私は、どうしても外せないアポイントが有ったのと、3日間で見つからないと発見率が極端に下がるということなので、全く反応のなかったチラシを作り直し、「迷い犬」というところを、「10万円差上げます」に変えて貼り直しました。すると、翌日までに約30件の連絡があり、見つかった欲しいと祈っています」と感涙のご返事。チラシを貼っていないくらい離れて場所だったので、妻に探しに行ってもらいました。すると、犬と散歩中の方の協力もあり、駐車場の車の下に、衰弱して隠れていた

ちまごろう を発見したとの事。その時の気持ちは言葉では言い表せませんでした。ただ涙が止まりませんでした。そして再び家の子に戻った ちまごろう を抱きしめ、妻と喜び合いました。本当に我が家の大事件でしたが、今回は大きく変わった ちまごろう の運命をお話ししましょう。(続く)



編集メモ

*今号のトピックスは「自動車リサイクルの成果」です。中古車が活用されている現状で、実際にリサイクルされる前にどの位リユースされているかを思うと、丁寧に使うことの大切さを感じます。中古と邪険にせずどんなものも使い方一つの問題ですね。
*先週、休日前でリラックスしていた夜、突然けたたましくスマホの緊急速報メールが届きました。線状降水帯が市内一体の上であり、災害の恐れありと非難指令でした。朝、遠い四国に線状降水帯のニュースを聞き、友人の安否を思ったのですが、夜には関東も襲われ、まさに青天の霹靂でした。命のもとになる水も形をかえるとモンスターになり襲ってきます。荒天準備はなかなか出来ないものですが、一度見直しを!